

## | 令和2年度新採職員のご紹介! |

4月から新たな仲間が加わりました。どうぞ、よろしくお願いします!



あき支所 信用課  
どい あやの  
**土居 彩乃**

家庭菜園始めました。一期一会を大切に、業務に臨みます。



あき東支所 共済課  
つねいし あおば  
**恒石 明乙羽**

笑顔で、皆さまに愛されるような職員を目指します。



芸西支所 信用共済課  
みき けいか  
**三木 景賀**

少しでも早く、組合員さんのお役に立てるように頑張ります!



奈半利支所 信用共済課  
こまつ しゅんぺい  
**小松 駿平**

10年間サッカー、4年間フットサルをやっていました。



北川支所 信用共済課  
こまつ あやか  
**小松 彩香**

趣味は旅行です。笑顔で頑張ります。



北川支所 信用共済課  
こまつ ちあき  
**小松 千也**

力になれるように、精一杯頑張ります。



室戸支所 信用共済課  
やまなか かいと  
**山中 海飛**

慣れないことばかりだと思うので、1つ1つ丁寧に対応していきます。



安芸営農経済センター あき東支所  
とり た りょう  
**鳥田 稜**

趣味はバイクでツーリングすることです。よろしくお願いします。



安芸営農経済センター あき北支所  
かわい けんご  
**川井 賢悟**

趣味はゲームです。日々頑張りたいです。

田野支所管内より



### 川田家に“福”を運ぶ

ふくちゃん♂(2)  
飼い主：川田 瑞穂さん

ある日、瑞穂さんは自宅のわきに親猫と子猫6匹を発見！ 追い出すこともできずに世話をしていると、親猫と子猫5匹は順々に何処かへ居なくなっていきました。一番華奢で貧弱で、自宅から一歩も離れなかったのがふくちゃんです。犬派だった瑞穂さんに、「ふくはここへおりたいがよ」と夫・民雄さんが呼びかけ、新しい家族になりました。

今では瑞穂さんのスマホは、ふくちゃんの可愛い写真がズラリ！ かけがえのない家族です。ふくちゃんがやって来てから、家族に嬉しい出来事があったり、「ふくちゃん、“福”を分けてね」と書いた年賀状を送ってくれた友人は宝くじが当選しました！ みんなに“福”を運んで来てくれてありがとう！

### 男の子にも負けないお転婆娘

小松 千夏ちゃん(1歳11ヶ月)

いろいろなものに興味が出てきて、1人でもテクテクと歩きまわる、とっても活発な千夏ちゃん。4月から通いだした幼稚園は、千夏ちゃん以外の同級生6人がみんな男の子で、ますますお転婆になりそうな予感・・・！ おもちゃ箱をひっくり返したりするやんちゃぶりは、父・奨太さん譲り。「明るく、元気な女の子に育ててほしい」と母・三貴子さんの思い以上にすくすくと育っています。

奨太さんと三貴子さんのナスのハウスへ行くのも好きで、手が届くナスをチョンチョンと触っています。でも野菜を食べるのは、まだ苦手。両親が育てていることが理解できるようになって、野菜嫌いも克服できるといいね！

穴内出張所管内より



安芸  
地区

から こんにちわ  
今月の〇〇 気になる人

奈半利支所管内より



### 釣りに行く前は楽しみで眠れない

竹崎 知之武さん(72)

「今日はいかんかった」と肩を落としつつも、約50cmの立派な鯛を釣り上げた知之武さん。釣り歴は30年。「15歳年下の師匠に勝ちたい！」その熱い思いで努力を重ね、腕を上げてきました。ピーマン栽培の傍ら、夏は奈半利川でアユ釣りを、夏以外は船釣りに夢中です。

「新しく何かを始めるときは上手な師匠に習い、自分も努力を続けることが大事。仲間同士の情報交換も大切で、それは釣りも農業も一緒」と話します。家から港まで3分という近さで、親族も釣り好きが多く、仲間からの情報も頼りにしています。栽培こよみと同様に釣り日誌も常に手元において、趣味も仕事も予習復習を惜しみません。「農作業が忙しくて久しぶりに釣りに行く前は、楽しみで眠れない」と子どものように無邪気な一面も見せてくれました。

### 大きな背中を追い続ける

久保田 健介さん(26)

安田町のJAサポートハウスで、妻・和美さんと1作目のナス栽培に奮闘する健介さん。前職の建設業に就いている時から祖父・騎志夫さんの栽培を手伝い、本格的な就農を勧められて農業の道へ。安芸地区園芸研究会の清岡克弘会長のもとで1年間研修に入り、栽培の基本を習得。清岡会長は、今でもハウスへ顔を出してアドバイスをくれる心強い大先輩です。

「今作はハチの入れ替え時期が遅れてボケ果を出してしまったので、2作目で改善したい」と課題を見つめる健介さん。品種も竜馬から慎太郎へ変更して、再来年以降の栽培へ活かす予定です。「清岡会長のように一年を通して、平均以上の収量を確保できるようになりたい」と大きな背中を追い続けます。

安田支所管内より



# できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



基盤整備された農地でユズを定植する平岡副支部長

## 1 北川支所

### 「北川モデル」栽培開始 ユズ専業農家100戸目指す

北川村で3月末から、新たな農地集約によるユズの栽培が始まりました。事業は「北川モデル」として県内外の自治体からの関心も高く、村は1ヘクタール規模のユズ専業農家100戸の育成・確保を目指します。

栽培が始まったのは、農地中間管理機構を介して基盤整備された園地。村や個人の所有する農地を機構が借り受け、県が整備を担います。機構を介することで、基盤整備の農家負担がないのが特徴です。整備後は、9戸が5・4ヘクタールで栽培する予定です。

柚子部北川支所の平岡大助副支部長は、規模拡大に同事業を活用。園地20アールへ、苗130本を定植しました。平岡副支部長は「地域は山奥から廃っていくので、人が入ることで土地を循環させたい」とユズと地域を守ります。

同村産業課の三木悌二課長は「今後も基盤整備を進め、生産性の高い農地を確保し、栽培技術の底上げを図りたい。Uターンなどの新規就農者も育成し、レベルの高い専業農家、いわゆる起業家農業者を確保したい」と強調しました。



来店者でにぎわうなぎの市

## 2 地区本部

### 地域に愛されて16年 第2・第4火曜は「なぎの市」

女性部安芸支部が毎月第2、第4火曜日に開く「なぎの市」が、開始16年目を迎えました。現在では地域住民やJA職員に親しまれる存在となっています。

同市は部員らが栽培した安全・安心な農産物で、地域の人へ貢献したいという思いから開始。部員の所得向上につなげることも、市を通して部員の増加も目指しています。現在13人の部員らが出品登録をしています。当日に用意できる人が、旬の農産物や手作りの加工品などを並べる形で運営しています。

4月14日は、今年度初の「なぎの市」を開催。旬のタケノコをはじめ、ナスやミョウガなど農産物のほか、田舎寿司など定番の加工品が並びました。開店と同時に地域住民や職員らが来店し、旬の農産物は数分で完売しました。来店客は「魚のお寿司が好きで、毎月楽しみにしている」「なぎの市の日は、時間を合わせて毎週来ている」と買い物を楽しんでいました。

野町節子支部長は「出品者数は減ってきているが、できるだけ長く続けたい」と話しました。

## 3 東洋支所

### 食の大切さや農家の苦労を実感



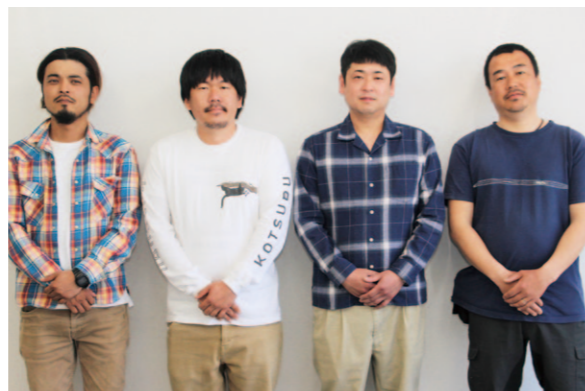
田植えに挑戦する児童

東洋町立甲浦小学校の4年生、同町立野根小学校3、4年生の児童7人は4月20日、同町で田植えに挑戦しました。同町教育委員会の主催で毎年開いています。

児童は原田四郎さんの水田で、振興センターの職員らに教わりながら、木枠を使った昔ながらの手作業で植え付けました。原田さんと一緒に田植え機に乗り、機械での植え付けも体験。児童は「田植えが大変なのが分かったので、今度からお米は残さずに食べたい」と話しました。

## 4 安芸営農経済センター

### 新部長に安田支部の西岡幹典さん



⑤から国沢委員、村上副部長、西岡部長、小松副部長

青壮年部は5月1日、あき支所で通常総会（書面議決）を開きました。今年度も、清掃などの地域貢献活動のほか、地元産農産物のPRとして昨年からの女性部と合同で始めた「とさのさと」での販売イベントを定着させていきます。

役員改選では新部長に安田支部の西岡幹典さん、副部長に羽根支部の村上功二さん、安芸支部の小松正純さんが選任されました。西岡部長は「コロナウイルスが終息したら、積極的に活動していきたい」と話しました。

## 5 地区本部

### 部員へマスク裁縫キット配布



部員にキットを贈る野町支部長⑥

女性部安芸支部は4月8日、あき支所で開いた通常総会でマスクの裁縫キットを部員25人に配布しました。

キットは野町節子支部長ら部員3人が作成。手ぬぐいとゴム、口当たりを良くするタオルを女性用マスクのサイズに切り、作り方を添えて作成しました。受け取った部員は「材料が全部揃っているの、すぐに作れそう」と喜んでいました。

野町支部長は「またみんなが集まるものづくりなどを楽しくめるように、感染予防に役立ててほしい」と願います。

## 6 あき北支所

### 多機能型事業所「TEAM あき」開所



職員のサポートのもと作業に励む利用者

こうち絆ファームは4月1日、安芸市に多機能型事業所「TEAM あき」を開所しました。地域の障害者や引きこもりの人などを対象に、農業分野での就労を支援し、農福連携の強化を目指します。

農作業全般を学び農家への一般就労を目指す「就労移行支援」と、袋詰めや収穫などの「就労継続支援B型」の福祉サービスを提供します。施設管理者の石川智さんは、「障害者等の働く場所と居場所づくりのノウハウを県内全域に広げたい」と意気込みます。

# えいのう〜



ハウス終了時の注意点

## ナス

収穫も終盤になってきました。収穫の終了時から、次作の準備を始めましょう。

### ハウス蒸し込み処理

収穫が終わったハウスは、次作への病害虫の持ち越しや近隣の農作物への影響も考慮し、晴天日にハウスを密閉して、蒸し込みを行います(ハウス野菜栽培管理こよみ資料3・1参照)。特にコナジラミ類や黄化えそ病を伝搬するアザミウマ類は、ハウスの蒸し込み処理により、ハウス外への飛散を防ぎましょう。

### 作物残さ処理

青枯病、フザリウム立枯病などの罹病株は圃場外へ持ち出し菌密度の低下を図り、圃場外へ持ち出す際は、焼却場の利用など残さをそのまま放置せず適切に処理しましょう。

### 作物残さの分解処理

次年度の作へ病害虫を持ち越さないために、現在では薬剤による土壌消毒や太陽熱処理、土壌還元法など様々な方法がなされています。これらを行う場合に、作物の残さや根等が残っていると、薬剤や熱が細胞内へ届きにくくなり、土壌消毒の効果は著しく低下します。

土壌消毒の効果を高めるためには、栽培終了後にできるだけ早く、作物残さを腐らせることが必要です。作物残さの分解促進のため、微生物資材の利用が有効です。

### 土づくり

土づくりとは、チッソやリン酸などの養分補給だけでなく、輪作・有機物の施用・深耕・排水などといった複合的な対策を行い、作物の根をとりまく環境を改善することです。有機物施用による効果には、養分の供給や土の物理性の改善の他に、養分の保持・緩衝能(CEC)の増大などがあります。特にハウス土壌では、有機物の消耗が激しいので、有機物を定期的に補給する必要があります。

堆肥類においては、堆積期間中にコガネムシ類の幼虫が寄生している場合や、未分解有機物の心配があるので、堆肥を投入するときは灌水前または土壌消毒前に施用してください。稲ワラやケントップ、パーク堆肥は土壌の物理性の改善効果が高く、家畜ふん堆肥は肥料効果が高いです。目的に合った有機資材を使用し、施用する際には土壌分析を行って、投入量を検討してください。

病害虫防除

## カンキツ

梅雨入りすると雨が増え、気温の上昇に伴い病害虫が発生しやすいので注意しましょう。

### 【生理落果】

旧葉の落葉が多い園地などでは、旧葉からの養分の供給が不足し、新葉と花との養分の競合が起こり、生理落果を助長すると考えられます。気温や日照も影響し、生理落果期に25℃以上の気温の日や曇天が続くと生理落果が増加します。特に平均気温よりも2℃高くなると落果率が高くなる傾向があります。

### 【黒点病】

被害果は病菌密度で症状が異なり、黒点型、涙斑型、泥塊型となります。防除対策は、生育期を通して枯れ枝を除去、適期に薬剤散布する事が重要です。梅雨入り前に1回、その後はダイセン類などで2000〜2500mmの降雨後に散布を行います。

### 【かじょう病】

枝葉の病斑で越冬し春先からの降雨によって伝染します。伝染は新葉、幼果、夏秋梢葉の若い組織で起こりやすく、樹齢の若い樹や軟弱徒長の樹で発病が多くなります。防除対策は、防風

対策や発病枝の剪除、ミカンハモグリガの防除の徹底。また、強風雨を伴う前線や台風の際来前の予防散布が有効です。

### 【ミカンサビダニ】

葉では6月中旬頃から急激に増殖を始め、6月下旬〜7月に最も密度が高くなります。夏場に高温・乾燥した年は、翌年も同じ場所が発生する可能性が高いので注意して防除を行なってください。

### 【その他病害虫】

6月はカミキリムシ類やカイガラムシ類等の防除適期なので防除を徹底しましょう。

### 【防除薬剤例】

- ミカンサビダニ・チャノホコリダニ アグリメック2000倍
- (6) アベルメクチン系
- ゴマダラカミキリ・カイガラムシ類 モスヒラン顆粒水溶液 2000〜4000倍
- (4A) ネオニコチノイド系
- カイガラムシ類・アブラムシ類 トランスフォーテフロアブル2000倍 (4C) スルホキシミン系
- ※同一系統薬剤の連用は避け、異なった系統の薬剤でローテーション散布を行います。

振興センターだより

## 「花き栽培こそ積極的な

## IPM技術を実践しましょう」パート2

門田 太志

安芸農業振興センター08871340138

施設花き栽培では、今作もアザミウマ類、コナジラミ類、ヨトウ類などの害虫に悩まされたのではないでしょう。特にこれらの害虫は薬剤感受性が低下し、化学農薬だけで発生密度を下げるのが難しくなっています。そもそも害虫防除の基本的な考え方として、害虫を「施設内に入れない」「施設内で増やさない」「施設内から出さない」ことが重要になります。

そこで、これらに対応した総合的病害管理(IPM)技術を実践することで、化学農薬が効きにくい現状でも農作物への被害を抑えられるとともに、薬剤感受性低下の防止対策に直結します。

### ◆雑草の除草

さて、ハウスに入ってくる害虫はどこから来るのでしょうか。隣のほ場という意見もありますが、元をたどれば、ほ場周辺の草むらで増えた害虫がハウス内に住処を移していることが大半です。「施設内に入れない」ようにするには、施設やほ場の周囲に生えている雑草を除草することはとても重

要です。

なお、除草する際には、住処を追われた害虫が施設内に入らないようにし、なるべくサイドを閉めるようにしましょう。

### ◆防虫ネットの設置

害虫の被害を出さないようにするうえで大切なことは、「施設内に入れない」ことです。振興センターでは、これまで本誌で防虫ネットの重要性をお伝えしてきたところです。安芸地区管内では、赤色防虫ネットの普及が進んでいます。また、光反射資材を織り込んだ防虫ネットも少しずつ導入が進んでいます。この資材は従来の防虫ネットに比べて目合いが2mm×7mmと大きく、通気性の良い点も好評のようです。

### ◆近紫外線除去フィルムの導入

防虫ネットの他にも「施設内に入れない」方法として、近紫外線除去フィルムによる被覆もアザミウマ類やコナジラミ類などの昼行性害虫には有効です。昆虫は、近紫外線除去フィルムで被覆したハウス内は夜間のように見えてしまうことから移動を抑える効

果があります。施設花き栽培では、近紫外線除去フィルムが花の発色に影響することを懸念する声がありますが、高知県農業技術センターの試験結果では、花色などの切り花品質への影響はほとんどないということがわかっています。不安な方は、連棟ハウスのサイド際の棟だけに被覆して、効果を確かしてみてください。

### ◆交信かく乱剤の導入

安芸地区管内の施設栽培では、栽培直後からハスモンヨトウの被害が発生しますが、ここ数年で薬剤感受性の低下が問題となっており、駆使しきれずに施設内で繁殖し、栽培終了時まで多大な被害を受ける事例が発生しています。そのため、「施設内で増やさない」ことが重要になります。

そこで振興センターでは交信かく乱剤の導入をおすすめています。剤の特性上、卵や幼虫が死滅する訳ではありませんが、成虫の交尾を阻害し、世代交代をさせないことで、個体数を減少させます。ハスモンヨトウに卓効を示す薬剤がない状況であれば、極め

て有効な手段になります。

### ◆栽培終了直後の蒸し込み処理

栽培終了時に害虫が増えた状態でハウスを開放してしまうと、栽培を終えていない周囲のハウスや露地作物のほ場に飛び込み、次の住処となって被害を出し、迷惑をかけてしまいます。また、栽培期間中に薬剤感受性の低下した害虫がハウス外に出て、次作にハウス内に飛び込まれてしまうと既存の薬剤散布による防除が難しくなります。これらの理由で、「施設内から出さない」ことが重要になります。

そこで振興センターでは、これらの問題への対策として栽培終了後の残渣を持ち出す前にハウスを7日程度密閉する(ハウス内温度が45℃以上を7日間継続)蒸し込みを推奨しています。経費もあまり必要としない点も魅力です。すでに多くの生産者がこの蒸し込み処理を実践していますが、地域全体として取り組んでいくことで、よりいっそうの効果が期待できます。



安芸農業振興センター 営農指導課 山影 学

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

# みんなのひろば

友達のお母さん達やかわいい犬も載っていて楽しく読みました。「青果の流通を追い」は、お父さん達の出している野菜がどうなっているのかわかったので勉強になりました。

(あき東支所 12歳)

▼お父さんが育てる野菜の流通がわかったかな？ 高知野菜をお客さんに届けて喜んでもらうために、多くの人の努力や工夫があるんだね。

振興センターだよりの種がほとんど入らない文旦がすごく魅力的です。

我が家は文旦大好きなので、販売されたら購入したいと、今から楽しみにしています。

(田野支所 61歳)

▼スプーンですくって食べる文旦なんてびっくりです。皮を剥かなくていいので、子どもでも食べやすいですね。

(あき東支所 66歳)

今コロナウイルスで学校が休校中だから家でずっといるけど、おさまったらいっぱい遊びたいです。早くウイルスがおさまりますように。

(芸西支所 11歳)

▼今月は休校中の子どもたちからのお便りがたくさん届きました。みんなありがとう！ 会えなかったぶん、みんなで思いっきり遊んでね。

(あき東支所 66歳)

▼こうぐりを読む時間が、少しでも息抜きになれたら嬉しいです。

(あき東支所 66歳)

待ちに待った我が家の猫のふくちゃんの写真撮影がありました。担当の竹村さんが上手に撮影されました。6月号楽しみにしています。

(田野支所 74歳)

▼撮影では大変お世話になりました！ ふくちゃんとも距離を近づけたかな？ お花のブーケもありがとうございました！

(あき支所 57歳)

▼JA高知県ホームページ内のレシピ集に、約40品目の農産物を使ったレシピを掲載しています。手軽なメニューもあるので、ぜひ覗いてみてください。

## 広報のつぶやき

外出自粛時、どのように過ごしていましたか？ 私は料理やお菓子作り、読書やヨガなどをしていました。

このような日が続くと、今まで不自由なく家族や友人と会い、外食に出かけ、旅へ行くことができていた日常がどんなに贅沢だったかを痛感させられました。私たちが家でじっとしている間も、この生活を支えるために働いている人たちがいることも忘れてはいけません。日常に戻れた時は、今までよりも一日を大切に、感謝を忘れずに過ごしたいですね。(竹村)

## INFORMATION

# お知らせ



## 新規就農者大歓迎！ (株)アグリード土佐あき研修生募集中

JA高知県の出資法人(株)アグリード土佐あきでは、来作からの研修生を募集しています。研修生が安心して独立就農できるように、肥料のやり方や農薬の消毒方法、機械の操作方法を実践のなかで指導。最先端の技術が揃う環境で、ナスの栽培技術の習得を目指しませんか？ 独立に向けての農業経営(簿記)基礎知識の習得から確定申告に関する申請書類の書き方なども、JA職員が全面的にバックアップします。

研修生が労働者となる「農の雇用」を活用した雇用研修も可能。詳しくはホームページをご覧ください。



### 問い合わせ

安芸営農経済センター 営農企画課  
0887-34-8325



ホームページはこちら

## 安芸市施設園芸品消費拡大委員会 ホームページをリニューアルしました

安芸市内でなす料理を提供する17店舗やお料理レシピなどを充実させました。ぜひ、ご覧ください。



ホームページはこちら

## 税務相談日

令和2年6月10日(水)・7月8日(水)

会場 時間

あき支所3階 10:00～16:00

問い合わせ 安芸地区本部 企画組員課  
0887-34-1515